

港湾政策研究所設立一周年記念企画

「国づくりと港について考えるシンポジウム」開催

(社)日本港湾協会港湾政策研究所は、設立一周年を迎えました。これを記念して、去る3月8日、海運クラブにて当協会と(財)国土計画協会の共催で、シンポジウムを開催致しました。当日は200名を越える参加者の方で会場が埋め尽くされました。

当協会御巫会長の開会挨拶で開演し、ご来賓の小神正志国土交通省国土計画局長および鬼頭平三国土交通省港湾局長よりご挨拶をいただきました。

基調講演では政策研究大学院大学の森地茂教授より「国土形成計画と港湾政策」と題して、永年携わってこられた国土計画を踏まえ、今回の国土形成計画への思いを語って頂きました。(なお、森地教授のご厚意により、当日講演された資料について、当協会のホームページでダウンロードできるようにさせていただきました)

続いて、当協会理事長の栢原コーディネーターのもと、東京大学大学院の家田仁教授、国土交通省国土計画局計画官の小野憲司氏、後藤国利大分県臼杵市長、淑徳大学の廻洋子客員教授、都市ジャーナリストの森野美徳氏の5名のパネリストによる「国づくりと港について考える」というテーマで、パネルディスカッションが行われました。国土形成計画において考慮すべき点や、地域のアイデンティティを發揮した事例について、ご議論いただき、「アジア

諸国と日本国内の個々の地域が直接交流することにより、お互いの存在感を高めていくためには、それぞれの地域が従来以上に独自性を發揮することが必要であり、自発的に取組むことが重要である。その中で港湾が果たす役割は大きい。」ことを確認しました。

最後に、伊藤滋国土計画協会会長よりご挨拶をいただき、閉会いたしました。



森地教授の基調講演



パネルディスカッション

第1回研究評価委員会開催

港湾政策研究所(橋立洋一所長)は、当研究所が実施する自主的政策研究に関する計画、成果あるいは体制など、研究を円滑かつ効率的に進める上で重要な事項に関して指導・助言を頂くため、政策研究大学院大学の森地茂教授を委員長とする研究評価委員会を設置し、2月22日に第1回委員会を開催しました。委員は、池田龍彦氏(横浜国立大学教授)、上村正明氏(㈱テトラ社長)、高橋浩二氏(国土交通省港湾局企画調査室長)、東恵子氏(東海大学教授)、福手勤氏(東洋大学教授)の5名です。

まず、研究の視点として、既報の研究及び今後の研究計画を通じて港湾管理者及び地方の行政に役立つという視点の重要性が評価される一方、規制緩和等に関しては他分野を含めた分析が必要であり、そのためにも港湾の枠を超えた研究機関等との連携の重要性も指摘されました。また、取り組み姿勢として、研究所が目指すテーマと各研究の位置づけや、レポートの配布先などに関しても吟味が必要であること、研究を一定の枠組みの中で捉える一方で「研究者の興味」が重要であること、などが各委員から指摘されました。

研究テーマの設定に関して、「港湾収支として金銭的ベネフィット以外の効用の評価」、「横並びからの脱却、地域の工夫を考える上でマニュアル化が適切か」、「港湾と背後都市の間のバリア」、「アジアにおける我が国港湾の方向」、「港湾再開発」、「国土のアセットマネジメント」、「土砂管理」、

「技術の継承」、「港湾の独自性」などに関して、多くの示唆をいただきました。

最後に、査読体制や投稿論文の取り扱いについて引き続き助言を頂くこと、9~10月に第2回委員会を開くことなどを確認して閉会しました。

第289回理事会開催

去る2月22日 第289回理事会が霞が関ビル・東海大校友会館「望星の間」で開催されました、来賓として顧問の藤野参議院議員、泉参議院議員がお見えになりました。

開会にあたって御巫会長が挨拶され、冒頭、去る2月7日ご逝去された故坂井順行副会長のご冥福を祈り、理事の皆様で黙祷を捧げました。

はじめに、国土交通省港湾局より現在開会中の通常国会に上程される「港湾法等の一部改正法案」、「平成18年度港湾関係予算」の説明がありました。続いて栢原理事長より当協会平成17年度下半期の事業報告がありました。

議案では「正会員の入会」等「会員の異動について」及び「役員人事について」が審議承認されるとともに、伊東釧路市長(長沼理事代理)より平成19年度通常総会(第79回)開催地招致の意向表明と小原編集委員長より機関誌「港湾」の平成18年度編集方針が報告され、12時30分に閉会しました。



「港と文化を語る集い」は、(財)港湾空間高度化環境研究センターと(株)日本港湾協会の共催により、過去4回開催されてきました。「映画と港」、「ワインと港」、「食文化と港」、「港湾都市と港」といった、港をとりまく歴史的、文化的トピックスと、港との関係について、港の持つ役割や機能とその社会との関わりについて、講師よりお話をいただくものです。

第5回については、当時世界有数の人口を擁していた大都市江戸の市民生活、文化、経済を支えた人・物・金の流れについて概観し、あわせてこの時代の交易や交通のあり方から、江戸にとっての舟運や港の役割について浮き彫りにしていこうと企画しています。

詳細は、HPに掲載しています。

1. 日 時 3月29日 15:00～17:20
2. 場 所 江戸東京博物館 大ホール(墨田区横綱1-4-1)
3. 基調講演 田中優子(法政大学教授)
4. 入場料 無料

機関誌「港湾」編集委員会

平成18年度編集方針について以下のように理事会にて承認されました。

1 基本方針

- (1) 本誌の基本性格は会員に配布される情報誌であり、会員に対して有用な情報の提供に努めます。特に新規港湾政策に関しては、会員の業務参考資料となるような適切な解説記事を適切な時期に掲載します。
- (2) 本誌は限定的ではあるがマスコミ、学界、政界等のオピニオンリーダーにも配布されており、港湾関係者の意見主張の媒体として用いるという観点も必要である。特に4月号～8月号の来年度予算概算要求作業時期には、予算要求重点方針と関連した特集記事を掲載する。その他、港湾政策に関し、適宜適切な意見記事等を掲載する。
- (3) その他、会員が業務の参考とできるよう、港湾に係る先進的な事業の事例、港湾周辺の関連情報等を、分かりやすい読み物の形で提供する。

2. 特集企画(案)

(参考1) 平成17年度の特集テーマ

- 4月：【環境】みなとのグリーン化
- 5月：【総会】テイクオフ中部2005 ものづくり、夢づくり、中部の港湾
- 6月：【防災】大規模地震・津波災害の記録と警鐘 ～インド洋大津波の教訓～
- 7月：【経済】港湾経済課新設
- 8月：【地方】地域経済再生
- 9月：【予算】まったなしの港湾・海岸・空港整備 平成18年度予算概算要求のポイント
- 10月：【海洋】21世紀の国土と資源の最前線
- 11月：【物流】通過点から創造空間へ かわる港湾物流
- 12月：【環境】みなとから考える地球温暖化
- 1月：【国際】World Watching グローバル化時代の港湾の役割
- 2月：【賑わい】みなとに集う人々の挑戦
- 3月：【技術】港湾技術の新しい波 ～未来技術が築く新世界～

年度後半分(10月号以降)に関しては、適宜見直しを行う。

3. その他主な留意事項

字のポイントを大きくし、読みやすさを改善する。

- 3月27日(月)……表彰委員会 (於：協会会議室)
- 3月29日(水)……港と文化を語る集い (於：江戸東京博物館)
- 3月31日(金)……日本港湾史編集委員会 (第3回) (於：協会会議室)
- 5月10日(水)……第290回理事会 (於：東海大校友会館)
- 5月24日(水)……評議員会・通常総会・港湾功労者等表彰式・交流パーティー (於：高知市)
- 5月25日(木)……シンポジウム (於：高知市)
- 6月27日(火)～29日(木)……港湾行政実務初任者研修 (於：全国都市会館)
- 7月……フォトコンテスト募集開始
(9月末締切、11月下旬審査結果発表)
- 7月15日(土)～23日(日)……「海フェスタとやま」への協賛
- 10月中旬……理事会
- 10月11日(水)～13日(金)……港湾行政研究会 (事務) (於：船の科学館)
- 10月25日(水)……港湾整備振興全国大会 (於：砂防会館)
- 11月8日(水)……北東アジア港湾協会長会議 (於：宮崎市)
- 11月14日(火)～16日(木)……港湾行政研究会 (技術) (於：船の科学館)

出 版 物

港湾協会では、以下の図書、雑誌等を出版しています。
〔(非会員価格)【送料】年月は発行年月〕

- 港湾土木請負工事積算基準 (平成17年度改訂版)
¥10,000 (¥12,000) 平成17年4月
- 船舶及び機械器具等の損料算定基準 (平成16年度改訂版)
¥2,000 (¥3,000) 平成16年4月
- 港湾関係補助金等交付規則実施要領 (平成17年版)
¥4,500 (¥4,500) 平成17年7月
- 港湾工事共通仕様書 (平成16年版)
¥5,500 (¥6,500) 平成17年3月再版 (一部改訂)
- 港湾設計測量・調査等業務共通仕様書 (平成13年版)
¥3,500 (¥4,500) 平成15年4月再版 (一部改訂)
- 海岸保全施設の技術上の基準・同解説
¥6,300 (¥6,300) 平成16年6月
- 港湾行政の概要 (初任者用) (平成17年度版)
¥8,000 (¥10,000) 平成17年6月
- 港湾行政の概要 (事務者用) (平成17年度版)
¥10,000 (¥10,000) 平成17年10月
- 港湾行政の概要 (技術者用) (平成17年度版)
¥15,000 (¥15,000) 平成17年11月
- 数字で見る港湾 (2005年版)
¥1,000 (¥1,000) 平成17年7月
- 日本の港湾2005
¥16,000 (¥16,000) 【¥1000】平成17年3月
- 機関誌「港湾」 ¥1,050 (¥1,050) 月刊誌
- よしお君とでろりん ¥1,400 (¥1,400) 平成17年7月
- 港湾計画「新」読本 ¥3,150 (¥4,200) 平成17年7月
- 公有水面埋立実務便覧 (全訂2版)
¥9,000 (¥10,000) 平成14年6月

価格はすべて消費税を含んでいます。送料を含まない場合、1冊の送付料金を記載しています。多数の場合はお問い合わせ下さい。購入方法は、以下のとおりです。

- ①当協会受付にて販売しております。
- ②送付をご希望の場合には、郵便振込又は代金引換にてお申し込み下さい。

〔郵便振込の場合〕 郵便局の振込用紙に書籍名、冊数をご記入下さい。

郵便振込口座：00160-63105、口座名：社団法人 日本港湾協会